



## 平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 オリジナル設計株式会社  
コード番号 4642 URL <http://www.oec-solution.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅 伸彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 吉良 薫

TEL 03-6757-8800

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	1,742	3.7	373	65.1	371	68.9	315	60.6
27年12月期第1四半期	1,680	△10.8	225	△41.2	219	△41.8	196	△41.4

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 276百万円 (34.6%) 27年12月期第1四半期 205百万円 (△36.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	47.21	—
27年12月期第1四半期	29.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
28年12月期第1四半期	6,156		4,603		74.8	688.27		
27年12月期	5,579		4,368		78.3	653.00		

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 4,602百万円 27年12月期 4,366百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	1.3	450	△10.7	450	△9.7	330	△25.3	49.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期1Q	7,796,800 株	27年12月期	7,796,800 株
28年12月期1Q	1,109,667 株	27年12月期	1,109,667 株
28年12月期1Q	6,687,133 株	27年12月期1Q	6,687,133 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成28年2月10日発表の連結業績予想を修正しておりません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、P. 2「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

平成28年3月の日銀短観によりますと、当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済の動向は、一部の業種で景況感の改善が見られたものの、内外需要の弱さや円高等の要因で景況感は総じて悪化しました。

大企業・製造業の業況判断指数(DI)は、2015年12月調査比から6ポイント低下の6%ポイントとなり、大企業・非製造業も前回調査から3ポイント低下の22%ポイントとなりました。また、中小企業の業況判断では、DIは、製造業は前回調査から4ポイント低下の△4%ポイント、非製造業は、同1%ポイント低下の4%ポイントとともに悪化しました。

また、3か月後を予想する業況判断では、大企業・製造業でマイナス3%ポイント低下となり、同・非製造業ではマイナス5%ポイント低下と、国内外の景気の先行きの業況を慎重に見ている企業が増えているようです。

こうした経済情勢のもと、当社の事業と関わりの深い国土交通省の平成28年度予算案は、「防災・安全交付金」と「社会資本整備総合交付金」の総額で対前年度比1.00倍と今期も前年並みの予算が計上されております。また、全国の政令指定都市及び東京都区部の下水道事業費の合計は、対前年度比1.8%増となっています。我が国の上下水道インフラ資産は、約130兆円との内閣府の試算があり、セクター別で道路に次ぐストックがあります。上水道はほぼ普及しているものの、下水道が未普及の地域があることから、施設の新規の整備は残すものの減少を辿っています。しかしながら、高度成長期に急速に整備した上下水道施設が毎年大量に耐用年数を迎え、安心・安全で文化的生活を送るために不可欠なこれらのインフラ資産を維持、更新してゆくことが求められています。また、近年頻発するゲリラ豪雨などから人命や資産を守る浸水対策や地震が発生してもトイレが使えるなどの地震対策、津波に強い下水道施設の補強対策など、新たなニーズも高まっています。

当グループは、このような外部環境のもと、主に、上水道分野では、「安全・強靱・持続・連携・挑戦」をキーワードとした厚生労働省水道課が掲げる新水道ビジョンに則ったアセットマネジメント関連業務の積極的な受注活動を展開しました。下水道分野では、国土交通省下水道部の主要7大テーマ、「震災復旧・復興の支援の強化と全国的な安全・安心対策の実施」、「未普及地域の早期解消」、「水環境マネジメントの推進」、「施設管理・運営の適正化」、「下水道経営の健全化」、「低炭素・循環型社会への取組推進」及び「国際展開と官民連携による水ビジネスの国際展開」に加え、総務省が支援を行っている簡易水道・下水道事業における地方公営企業法の適用による公営企業会計の導入支援関連業務等の受注活動などを推進してまいりました。海外分野では、官民連携による新興国の案件発掘などの受注活動を展開しました。

他方、社内体制につきましては、「維持・運営の時代」を見据えた組織づくり、社内の各階層での意思疎通と情報共有、部署別経営指標の随時確認による経営課題の迅速な軌道修正、受注したプロジェクトの適正な予算管理、工程管理、社内エンジニアのスキル向上、社外ネットワークの拡大などによる生産性向上と原価低減を図り、収益の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は4億7千5百万円（前年同四半期比34.5%減）となりました。

一方、完成業務高は17億4千2百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益は3億7千3百万円（前年同四半期比65.1%増）、経常利益は3億7千1百万円（前年同四半期比68.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億1千5百万円（前年同四半期比60.6%増）となりました。

当グループにおける事業部門別の業績は、次のとおりであります。

#### [建設コンサルタント部門]

建設コンサルタント部門につきましては、受注高は4億4千万円（前年同四半期比37.4%減）となりました。一方、完成業務高は15億8千7百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。

#### [情報処理部門]

情報処理部門につきましては、受注高は3千5百万円（前年同四半期比53.9%増）となりました。一方、完成業務高は1億5千5百万円（前年同四半期比2.8%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、完成業務未収入金の増加等により前連結会計年度末と比較して5億7千7百万円増加し61億5千6百万円となりました。

負債は、未成業務受入金の増加等により前連結会計年度末と比較して3億4千1百万円増加し、15億5千2百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の増加等により2億3千5百万円増加し46億3百万円となりました。この結果、自己資本比率は74.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月10日に公表した業績予想につきましては、現時点において変更しておりませんが、今後様々な要因を精査し、修正が必要になった場合には速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,690,589	2,849,580
完成業務未収入金	1,686,808	2,120,378
未成業務支出金	2,738	-
繰延税金資産	123,982	125,518
その他	34,469	48,035
流動資産合計	4,538,588	5,143,512
固定資産		
有形固定資産	325,144	328,170
無形固定資産	86,643	96,142
投資その他の資産		
その他	629,123	588,693
投資その他の資産合計	629,123	588,693
固定資産合計	1,040,911	1,013,006
資産合計	5,579,499	6,156,518
<b>負債の部</b>		
流動負債		
業務未払金	202,593	263,005
リース債務	12,665	12,578
未払法人税等	52,525	64,190
未成業務受入金	223,178	659,304
賞与引当金	18,545	59,720
受注損失引当金	38,544	23,130
その他	337,610	170,017
流動負債合計	885,662	1,251,946
固定負債		
リース債務	24,519	21,465
繰延税金負債	24,096	6,995
株式給付引当金	9,202	9,030
退職給付に係る負債	214,327	209,388
資産除去債務	45,273	45,440
その他	8,400	8,400
固定負債合計	325,819	300,720
負債合計	1,211,482	1,552,667
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,093,000	1,093,000
資本剰余金	2,886,615	2,886,615
利益剰余金	927,950	1,203,092
自己株式	△670,605	△670,605
株主資本合計	4,236,959	4,512,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,170	17,233
退職給付に係る調整累計額	75,599	73,227
その他の包括利益累計額合計	129,769	90,461
新株予約権	1,287	1,287
純資産合計	4,368,017	4,603,851
負債純資産合計	5,579,499	6,156,518

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
完成業務高	1,680,863	1,742,787
完成業務原価	1,180,388	1,094,036
売上総利益	500,474	648,751
販売費及び一般管理費	274,541	275,748
営業利益	225,932	373,003
営業外収益		
受取利息	771	316
保険事務手数料	379	303
出向者業務分担金	2,517	-
貸倒引当金戻入額	-	6,836
その他	1,341	786
営業外収益合計	5,010	8,244
営業外費用		
支払利息	233	312
株式関係費用	10,559	6,689
為替差損	-	2,821
その他	341	129
営業外費用合計	11,135	9,953
経常利益	219,807	371,294
税金等調整前四半期純利益	219,807	371,294
法人税、住民税及び事業税	34,753	57,779
法人税等調整額	△11,456	△2,170
法人税等合計	23,297	55,608
四半期純利益	196,510	315,685
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	196,510	315,685

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	196,510	315,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,854	△36,937
退職給付に係る調整額	△6,093	△2,371
その他の包括利益合計	8,761	△39,308
四半期包括利益	205,272	276,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	205,272	276,377
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

当社グループは、建設コンサルタント事業並びにこれらに付帯する業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。